

○ 「ぐんま5つのゼロ宣言^{*}」の実現に向け、環境保全型農業の推進や温室効果ガス排出量の削減、耕畜連携の推進、新たな経営感覚を持った担い手の育成、有機農畜産物等の販路拡大等の取組を通じて「農業のグリーン化」を推進し、持続可能な食と農の地域循環システムの実現を目指す。

※災害に強く、持続可能な社会を構築し、県民の幸福度を向上させるため、「自然災害による死者『ゼロ』」、「温室効果ガス排出量『ゼロ』」、「災害時の停電『ゼロ』」、「プラスチックごみ『ゼロ』」、「食品ロス『ゼロ』」の5つの『ゼロ』を宣言

【作成主体】 群馬県及び県内全35市町村

【計画の主な目標】

- ・ エコファーマー認定者延べ人数：8,000人（R9）
- ・ 群馬県特別栽培農産物認証農業者数：330人・法人（R9）
- ・ 有機JAS認証の取組：370ha、120戸（R9）
- ・ 有機農業の取組：3,000ha、1,680戸（R12）

【取組のポイント】

- ・ 施肥技術の改善、IPM技術の活用などによる**土づくりと化学肥料・化学合成農薬使用量低減の取組**、施設園芸における省エネルギー化などの**温室効果ガス排出量削減に資する取組**を推進
- ・ AI、IoT等のさらなる環境負荷低減が期待できる**新技術や革新的な技術の導入**を促進
- ・ 循環型農業の確立に向けて、耕種農家と畜産農家等が一体となった**耕畜連携**を推進
- ・ 県立農林大学校での「有機農業コース」の新設や有機JAS研修の実施により、環境保全に配慮しつつ高付加価値化を目指す**新たな経営感覚を持った担い手**を育成
- ・ 生産者と事業者とのマッチング支援、有機マルシェ等の開催、学校給食等への導入拡大、JAグループ等との連携による販売体制の強化などにより、**有機農畜産物等の販路拡大**を推進



持続可能な食と農の地域循環システムの実現



循環型農業の確立に向けた耕畜連携の推進



有機マルシェ等の開催